

～経腸栄養と下痢～

経腸栄養をしている患者さんで下痢症状がある方はいませんか？

経腸栄養で栄養管理を行っている患者さんでは、腹痛・腹部膨満・嘔吐・下痢等の消化器関連の合併症を起こすことがあります。その中でも下痢は発生頻度が多い症状です。下痢が続くと栄養吸収不良・脱水・スキントラブル・電解質異常などを引き起こしてしまいます。

【下痢の原因】

医療者側原因	患者側原因
投与速度 投与量 栄養剤の組成 細菌汚染 浸透圧 乳糖不耐症 etc…	長期絶食 長期抗菌剤薬投与 胃切既往 腸管浮腫 etc…

【下痢の対策】

●投与速度の減速

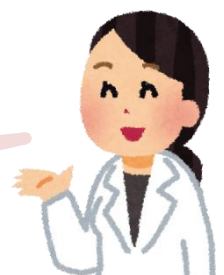
→栄養剤はゆっくり投与。投与速度が速いと下痢を起こしやすい。開始時は50ml/h 程度から始め、最終的に150～200ml/h 程度になるのが理想。

●栄養剤の変更

→半消化態栄養剤から消化態栄養剤への変更。(例：メイバランス 1.0→ペプタメンスタンダード) REF-P1 の使用。(胃内排泄速度が低下し、下痢予防)
 栄養剤に食物繊維が含まれているか確認。脂質含有量が多くないか確認。

●投与量の調整

→投与は少量(目標量の1/3 量程度)から開始。
 徐々に目標栄養量に投与量を増やしていく。



※下痢で困っている患者さんがいたら、ぜひ栄養士にご相談ください！